

平成24年度 宇和島市財政状況の公表

平成24年度の決算状況がまとまりましたので、お知らせします。

今回の決算（※1 普通会計）では、歳入から歳出と翌年度に繰越さなければならない財源（1.9億円）を差し引いた実質収支は、4.8億円の黒字決算となりました。また、職員数の削減など引き続き財政基盤の強化に努めてきたことなどにより、各種財政指標はおおむね改善しています。

しかしながら、この改善の大きな要因の一つは地方交付税の交付水準が回復・維持されていることにあります。税収の状況が厳しい中、合併に伴う普通交付税などの特別措置も減少していくことになるため、更なる「持続可能な財政運営」に向け、より一層の行財政改革の推進に努めます。

歳入総額 414.3億円

前年度比 11.6億円(2.9%)増

歳出総額 407.6億円

前年度比 7.9億円(2.0%)増

		目的別歳出		性質別歳出		
自主財源(※2)	地方税	78.1億円 (18.8%)	民生費	139.8億円 (34.3%)	人件費	67.8億円 (16.6%)
	諸収入	21.1億円 (5.1%)			扶助費	80.4億円 (19.7%)
	その他	22.2億円 (5.4%)			公債費	57.5億円 (14.1%)
依存財源(※3)	地方交付税	171.8億円 (41.5%)	公債費(※5)	57.5億円 (14.1%)	公債費	57.5億円 (14.1%)
	地方債	26.1億円 (6.3%)	総務費	43.5億円 (10.7%)	投資的経費(※6)	42.1億円 (10.3%)
	国庫支出金	53.3億円 (12.9%)	衛生費	51.0億円 (12.5%)	補助費等	49.9億円 (12.3%)
	県支出金	29.5億円 (7.1%)	農林水産業費	22.5億円 (5.5%)	繰出金	50.8億円 (12.5%)
	その他	12.2億円 (2.9%)	土木費	32.3億円 (7.9%)	物件費	33.0億円 (8.1%)
			教育費	34.6億円 (8.5%)	その他	26.1億円 (6.4%)
			その他	26.4億円 (6.5%)		

【歳入】

地方税などの自主財源は121.4億円で、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は292.9億円となっています。自主財源については、固定資産税の評価替えなどにより地方税が減額（0.8億円減）した一方、臨時的な用地売却によるそのほかの収入の増額（5.2億円増）などにより、前年に比べ増額（4.7億円増）になっています。

全体としては、地方交付税の減額（2.5億円減）などがありましたが、普通建設事業費の増加に伴う地方債（9.9億円増）と国庫支出金（3.9億円増）の増額など、前年に比べ増額（11.6億円増）になっています。

【歳出】

人件費・公債費などの義務的経費が205.7億円で、普通建設事業費などの投資的経費が42.1億円、繰出金・物件費などのそのほかの経費が159.8億円となっています。義務的経費については、高齢化や生活保護世帯の増加により扶助費は増額（1.8億円増）となっていますが、職員数の削減による人件費の減額（1.1億円減）と公債費の減額（1.3億円減）により、前年に比べ減額（0.6億円減）となっています。

全体としては、九島架橋事業の本格着工などによる投資的経費の増額（9.1億円増）などにより、決算規模は前年を上回っています。

おもな市有財産の状況

土地	28,281千㎡	建物	471千㎡	債権	1億1,700万円	基金(※7)	104億6,800万円
----	----------	----	-------	----	-----------	--------	-------------

おもな財政指標の推移

財政の余裕は・・・

(経常収支比率)

財政の弾力性を示す指標で、

経常的な支出
(人件費・公債費など)

÷

経常的な収入
(市税・普通交付税など)

で算出します。

(単位：％)

比率が低いほど財政的な余裕があるとされており、大量退職が続く中、新規採用者の抑制による人件費の削減などに努めています。

H20	H21	H22	H23	H24
88.5	89.9	86.3	89.2	89.7

市の貯金は・・・

(財政調整基金)

市は様々な目的のために、資金を積み立てたり運用したりしています。その中でも財政調整基金は、予期しない歳入の減少や歳出の増加に備えて積み立てている基金で、貯金の大きな柱です。

平成24年度は、財政調整基金へ5億円の積立をしました。

(単位：億円)

H20	H21	H22	H23	H24
10.0	16.8	35.9	39.4	44.4

市の借金は・・・

(市債残高)

市が借り入れる資金は、将来にわたって使用できる施設や設備を整備するための財源になり、大きな事業をするためにはどうしても必要な財源です。

しかしながら、過大な借入は将来の財政を圧迫することとなるため、引き続き圧縮に努めています。

(単位：億円)

H20	H21	H22	H23	H24
463	452	433	397	372

各会計の決算状況

市は一般会計のほかに特定の事業についての経理を明確にするため、12の独立した会計（特別会計）を設置し、国県支出金や使用料などにより運営しています。

(単位：百万円)

会計名		歳入	歳出	差引額	会計のおもな役割
一般会計		41,763	40,758	1,005	市の一般的行政経費に関すること
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	12,208	12,098	110	国民健康保険業務に関すること
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	247	247	0	へき地（離島など）の国民健康保険業務に関すること
	後期高齢者医療	2,029	1,994	35	後期高齢者医療に関すること
	介護保険（保険事業勘定）	8,866	8,853	13	介護保険業務に関すること
	介護保険（介護サービス事業勘定）	72	72	0	介護予防サービス業務に関すること
	財産区管理会	48	25	23	御槇・清満・畑地の各財産区の管理運営
	土地取得事業	12	11	1	公共用地の取得に関すること
	住宅新築資金等貸付事業	17	352	△ 335	住宅新築資金などの管理業務（貸付は終了）
	簡易水道事業	148	148	0	簡易水道の管理運営
	公共下水道事業	1,843	1,842	1	公共下水道施設の施設整備・管理運営
	小規模下水道事業	66	66	0	漁業集落排水施設の施設整備・管理運営
駐車場事業	22	22	0	城山下駐車場ほか2カ所の管理運営	

財政健全化に関する指標

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全性に関する指標を算出しました。

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。また、基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。

市の比率は次のとおりで、早期健全化・財政再生の基準を超えるものではありません。また、平成23年度よりも減少し、改善していますが、全国平均（平成23年度市区）と比較すると、まだ大きな負担であるといえます。

健全化判断比率

(単位：%)

区分	H22	H23	H24 (速報値)	H24 早期 健全化基準	財 政 再生基準	H23 全国 市区平均
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	12.02	20.00	赤字なし
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	17.02	30.00	赤字なし
実質公債費比率	13.0	12.0	11.1	25.0	35.0	8.9
将来負担比率	97.0	83.0	59.7	350.0		46.5

○(連結)実質赤字比率…一般会計など（連結実質赤字比率は全会計）を対象とした実質的な赤字の標準財政規模（※8）に対する比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。

○実質公債費比率…一般会計などで借りた市債の償還金と公営企業などが借りた市債の償還金に対する一般会計負担の合計額の標準財政規模に対する比率で、どれだけ借金返済に使われているかを示す指標です。

○将来負担比率…公営企業や土地開発公社なども含め、市が将来負担しなければならない実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する度合いを示す指標です。

資金不足比率

公営企業ごとに、資金不足額をその企業の事業規模で割った比率です。（経営健全化基準20.0%）

公営企業会計（水道事業会計ほか5事業会計）について、資金不足はありません。

用語解説

※1 普通会計…ほかの地方公共団体との財政比較や統一した把握を容易にするための地方財政統計上の会計区分で、本市の場合は「一般会計」・「土地取得事業・住宅新築資金等貸付事業の各特別会計」を1つにまとめたものです。

※2 自主財源…市税や使用料・手数料などの市が自ら調達できる財源。「自主財源」の割合が高いほど、自主性と安定性のある予算を組むことができます。

※3 依存財源…国や県の意思により定められた額で、交付されたり割り当てられたりする財源。

※4 義務的経費…その支出が義務づけられており自由に節減できない経費。通常は人件費・扶助費・公債費の3つの費目が該当します。

※5 公債費…市債（市の借金）の返済に充てた経費。

※6 投資的経費…その支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに使われる経費。

※7 基金…特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けられる資金や財産。

※8 標準財政規模…地方公共団体が通常水準の行政サービスを行う上で、必要とされる一般財源の額（平成24年度＝260.3億円）

【問合せ先】 財政課財政係 ☎24-1111 内線 2433・2474 ✉zaisei@city.uwajima.lg.jp

病院事業

損益計算書 (内訳)

(単位：千円・%)

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
宇和島病院	医療費用	11,160,352	89.1	医療収益	11,455,895	94.7
	給与費	5,397,452	43.1	入院収益	7,768,460	64.2
	材料費	2,897,832	23.1	外来収益	3,037,627	25.1
	減価償却費	1,197,667	9.6	その他医療収益	649,808	5.4
	その他医療費用	1,667,401	13.3	医療外収益	631,605	5.2
	医療外費用	698,641	5.6	受取利息及び配当金	7,395	0.1
	支払利息	278,829	2.2	その他医療外収益	624,210	5.1
	繰延勘定償却	212,730	1.7	特別利益	7,464	0.1
	その他医療外費用	207,082	1.7			
	特別損失	666,336	5.3			
	合計	12,525,329		合計	12,094,964	

当年度純損失 430,365千円

損益計算書 (病院事業合計)

(単位：千円・%)

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
宇和島病院	医療費用	13,355,773	90.0	医療収益	13,595,091	94.3
	給与費	6,849,876	46.2	入院収益	9,098,317	63.1
	材料費	3,175,578	21.4	外来収益	3,686,496	25.6
	減価償却費	1,339,575	9.0	その他医療収益	810,278	5.6
	その他医療費用	1,990,744	13.4	医療外収益	816,047	5.6
	医療外費用	782,283	5.3	受取利息及び配当金	6,401	0.0
	支払利息	298,979	2.0	その他医療外収益	809,646	5.6
	繰延勘定償却	242,913	1.7	特別利益	7,679	0.1
	その他医療外費用	240,391	1.6			
	特別損失	699,758	4.7			
	合計	14,837,814		合計	14,418,817	

当年度純損失 418,997千円

※病院事業内での取引を相殺調整しているため、合計とは合致しません。

吉田病院	医療費用	987,009	94.9	医療収益	897,476	90.0
	給与費	679,979	65.4	入院収益	593,354	59.5
	材料費	104,220	10.0	外来収益	243,061	24.4
	減価償却費	50,666	4.9	その他医療収益	61,061	6.1
	その他医療費用	152,144	14.6	医療外収益	100,232	10.0
	医療外費用	47,078	4.5	受取利息及び配当金	29	0.0
	支払利息	16,516	1.6	その他医療外収益	100,203	10.0
	繰延勘定償却	15,972	1.5	特別利益	100	0.0
	その他医療外費用	14,590	1.4			
	特別損失	6,235	0.6			
合計	1,040,322		合計	997,808		

当年度純損失 42,514千円

津島病院	医療費用	1,205,913	94.9	医療収益	1,243,729	93.9
	給与費	707,397	55.7	入院収益	736,503	55.6
	材料費	173,526	13.6	外来収益	405,807	30.6
	減価償却費	91,241	7.2	その他医療収益	101,419	7.7
	その他医療費用	233,749	18.4	医療外収益	80,686	6.1
	医療外費用	37,549	3.0	受取利息及び配当金	22	0.0
	支払利息	4,678	0.4	その他医療外収益	80,664	6.1
	繰延勘定償却	14,211	1.1	特別利益	116	0.0
	その他医療外費用	18,660	1.5			
	特別損失	27,187	2.1			
合計	1,270,649		合計	1,324,531		

当年度純利益 53,882千円

医療行政管理部	医療費用	67,431	98.1	医療収益	62,057	90.3
	給与費	65,049	94.6	医療外収益	6,675	9.7
	その他医療費用	2,382	3.5	その他医療外収益	6,675	9.7
	医療外費用	1,300	1.9	特別利益	10	0.0
	その他医療外費用	1,300	1.9			
	特別損失	11	0.0			
合計	68,742		合計	68,742		

当年度純損益 0千円

貸借対照表 (病院事業合計)

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	18,222,904	固定負債	881,171
土地	1,198,299	引当金	881,171
償却資産	27,809,701	流動負債	1,102,507
減価償却累計△	10,785,096	未払金及び未払費用	1,076,808
無形固定資産	132,937	その他	25,699
投資	28,700	負債合計	1,983,678
流動資産	8,002,989	資本金	28,517,964
現金預金	5,251,033	自己資本金	13,343,936
未収金	2,525,038	借入資本金	15,174,028
貯蔵品	160,870	剰余金	△ 3,041,272
その他	66,048	資本剰余金	311,300
繰延勘定	1,072,840	利益剰余金	△ 3,352,572
		資本合計	25,476,692
資産合計	27,460,370	負債資本合計	27,460,370

患者利用状況

(単位：人・%)

病院名	入院患者延数	外来患者延数	病床利用率
宇和島病院	151,610 (415)	272,536 (1,112)	95.5
吉田病院	29,972 (82)	38,450 (157)	57.0 (82.1)
津島病院	32,255 (88)	53,313 (218)	66.4 (84.2)
合計	213,837 (585)	364,299 (1,487)	-

患者数のカッコ内の数字は1日あたりの患者数
病床利用率のカッコ内の数字は、休床数を除く病床利用率

建設改良事業

改築事業、医療機械整備など 408,586千円 (消費税込)

※病院・水道・介護老人保健施設事業の損益計算書は平成24年度の1年間、貸借対照表は平成25年3月31日現在の数値です。

※様式は、地方公営企業法施行規則に基づいた独自様式です。

介護老人保健施設事業

水道事業

損益計算書

(単位：千円・%)

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
オレンジ荘	施設事業費用	331,971	98.0	施設事業収益	354,286	99.7
	給与費	237,979	70.2	施設介護収益	261,406	73.6
	材料費	30,434	9.0	居宅介護収益	55,777	15.7
	減価償却費	13,396	4.0	その他事業収益	37,103	10.4
	委託費	4,161	1.2	施設事業外収益	1,098	0.3
	その他施設事業費用	46,001	13.6	受取利息	6	0.0
	施設事業外費用	6,271	1.9	その他事業外収益	1,092	0.3
	支払利息	6,241	1.8	特別利益	7	0.0
	その他施設事業外費用	30	0.0			
	特別損失	664	0.2			
	合計	338,906		合計	355,391	

当年度純利益 16,485千円

ふれあい荘	施設事業費用	287,115	96.1	施設事業収益	292,562	99.6
	給与費	175,252	58.7	施設介護収益	220,934	75.2
	材料費	8,946	3.0	居宅介護収益	43,997	15.0
	減価償却費	18,672	6.3	その他事業収益	27,631	9.4
	委託費	37,444	12.5	施設事業外収益	1,289	0.4
	その他施設事業費用	46,801	15.8	受取利息	4	0.0
	施設事業外費用	11,100	3.7	その他事業外収益	1,285	0.4
	支払利息	11,075	3.7	特別利益	0	0.0
	その他施設事業外費用	25	0.0			
	特別損失	501	0.2			
	合計	298,716		合計	293,851	

当年度純損失 4,865千円

貸借対照表(介護老人保健施設事業合計)

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	1,164,783	固定負債	0
土地	335,868	流動負債	52,196
償却資産	1,745,954	一時借入金	0
減価償却累計△	917,039	未払金及び未払費用	47,955
無形固定資産	700	その他	4,241
流動資産	150,566	負債合計	52,196
現金預金	55,258	資本金	1,458,934
未収金	95,308	自己資本金	678,809
		借入資本金	780,125
		剰余金	△ 195,081
		資本剰余金	0
		利益剰余金	△ 195,081
		資本合計	1,263,853
資産合計	1,316,049	負債資本合計	13,169,049

施設利用状況

(単位：人・%)

		オレンジ荘	ふれあい荘	合計
入所者	延数	26,321	21,280	47,601
	1日平均	72.1	58.3	130.4
	利用率	96.1	97.2	96.6
通所者	延数	4,396	3,757	8,153
	1日平均	17.9	15.3	33.3
	利用率	89.5	76.5	83.3

損益計算書

(単位：千円・%)

費用の部			収益の部		
科目	金額	%	科目	金額	%
営業費用	1,963,285	94.4	営業収益	2,254,860	99.6
職員給与費	403,702	19.4	給水収益	2,131,775	94.1
受水費	472,503	22.7	受託工事収益	1,894	0.1
委託料	180,991	8.7	その他営業収益	121,191	5.4
動力費	26,139	1.3	営業外収益	7,924	0.3
修繕費	84,901	4.1	受取利息及び配当金	722	0.0
材料費	5,706	0.3	他会計補助金	2,823	0.1
薬品費	456	0.0	雑収益	4,379	0.2
その他経費	120,690	5.8	特別利益	1,891	0.1
減価償却費	642,817	30.9	固定資産売却益	1,837	0.1
資産減耗費	25,380	1.2	過年度損益修正益	54	0.0
営業外費用	116,112	5.5			
支払利息	102,288	4.9			
繰延勘定償却	13,357	0.6			
その他雑支出	467	0.0			
特別損失	1,845	0.1			
過年度損益修正損	1,845	0.1			
費用合計	2,081,242		収益合計	2,264,675	

当年度純利益 183,433千円

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	13,874,736	固定負債	49,130
土地	636,332	引当金	49,130
建物	465,221	流動負債	238,369
構築物	10,875,959	未払金	209,839
機械・装置	1,818,301	その他流動負債	28,530
車輛・運搬具	3,440	負債合計	287,499
工具・器具・備品	18,543	資本金	9,220,127
建設仮勘定	56,940	自己資本金	4,288,711
無形固定資産	604,483	借入資本金	4,931,416
流動資産	1,688,864	剰余金	6,671,412
現金預金	1,386,506	資本剰余金	5,745,953
未収金	283,365	利益剰余金	925,459
貯蔵品	18,993	資本合計	15,891,539
繰延勘定	10,955		
資産合計	16,179,038	負債資本合計	16,179,038

地区別配水量

(単位：m)

地区名	年間配水量	1日平均配水量
宇和島	7,097,290	19,444
吉田	1,148,562	3,147
三間	749,934	2,055
津島	2,005,665	5,495
合計	11,001,451	30,141